

第79回東海三県高校将棋大会 結果

海の日の7月16日(月)、東海高校で第79回東海三県高校将棋大会が開催され、愛知・岐阜・三重から団体戦に41チーム、個人戦に155名の申込があった。団体戦は史上最多を更新する参加数で、ついに7番目のGリーグが出来た。

【団体戦】

団体戦は3人制で、AからGまで各級原則6校による総当たりリーグ戦(今回のGは5校)を行い、成績により昇級・降級がある。持ち時間は30分の切れ負け。A級では4連覇中の愛工大名電が今大会でも隙がなく、4回戦終了時点で優勝を決めた。今後、どの学校が止めるだろうか。なお、準優勝は名電以外の各校から勝ち点を挙げた鶯谷であった(表を参照)。

第79回東海三県高校将棋大会団体戦A級

Aリーグ	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝点	勝数	順位
1 愛工大名電	6 ③	5 ③	4 ③	3 ②	2 ③	5	14	1
2 南山女子部	3 1	6 1	5 ②	4 1	1 0	1	5	5
3 東海	2 ②	4 1	6 ②	1 1	5 ③	3	9	3
4 鶯谷	5 ③	3 ②	1 0	2 ②	6 ③	4	10	2
5 岐阜北	4 0	1 0	2 1	6 0	3 0	0	1	6
6 旭丘	1 0	2 ②	3 1	5 ③	4 0	2	6	4

B級以下各リーグの上位校は次の通り。

B級①明和 ②南山男子部

C級①瑞陵 ②天白

D級①岡崎 ②高田

E級①名古屋 ②春日井東

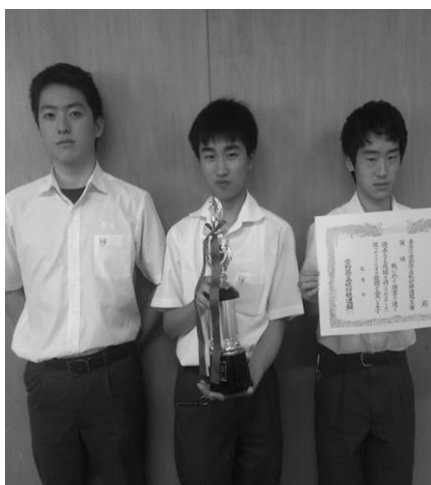
F級①知立東 ②鳴海

G級①旭野 ②東郷

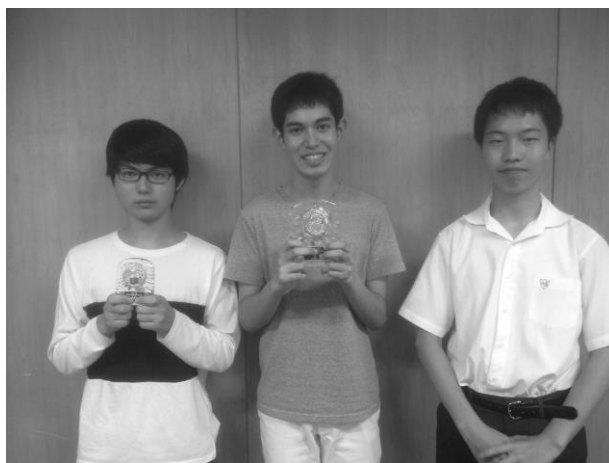
このうち、南山男子部と天白を除く 10 校はひとつ上の級の下位校との入替戦にも勝って、昇級を決めた。高田、名古屋、春日井東は 2 期連続の昇級である。また、リーグ戦と入替戦の全 6 戦で 3 人とも無敗という岡崎の成績が目をつけた。

【個人戦】

個人戦はトーナメント方式で行なわれた。今大会では三重県勢の活躍が目立ち、決勝戦は眞田あくばる君（北星 2 年）と石崎智也君（桑名 2 年）の対戦となった。角道オープン四間飛車対向飛車の相振り飛車戦となり、中盤で眞田君が角の効きを生かして攻め込み、その後の激しい攻防も制して初の優勝を飾った。また、3 位決定戦では吉田佑吏君（愛工大名電 2 年）が笹田幸太郎君（四日市 2 年）に勝って、3 位入賞を果たした。



団体戦優勝の愛工大名電高校
(左から羽鳥君、亀山君、瀬野君)



個人戦入賞者
(左から石崎君、眞田君、吉田君)

次回は来年 2 月に開催の見込みで、参加には事前申込が必要。新規参加の問合せは、年内に南山高校女子部奥野まで (052-831-0704)。

(以上、日本将棋連盟東海普及連合会HPより抜粋)